



(発行)
熊本市教育委員会事務局
学校教育部 総合支援課
学校サポート班
(文責)
指導主事 田中 慎一郎
tanaka.shinichiro@city.kumamoto.lg.jp

心の中のモヤモヤ…

ひよっとしたら、友だちや親、先生にも
相談しにくいこともあるかもしれない

2学期の始業式の前々2週間
LINEで相談を受け付けます

期間：8/24(金)～9/6(木)

対象：熊本市立の中高校生

時間：17:00～21:00

熊本市教育委員会



悩みがあるのはあたりまえ

SNSもリアル(現実)の一部



登録はこちら

悩みがあることは悪いことではない。むしろ、人としてごく自然なこと。今、悩んでいるあなたは、心を一生懸命動かしているがんばりやさんである。そんな、あなたを応援するのが、熊本市SNS悩み相談「ほっとLINE」。この夏、熊本市立の中高生を対象として8月24日から実施しています。

熊本市の各学校では、いじめや悩みを相談できるアンケートが定期的に行われています。しかし、そこで相談できない人もいるかもしれない。そういう思いで、ほっとLINE

を期間限定ですが、開設しました。

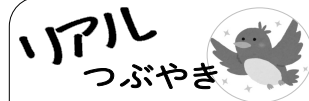
ネットもリアル



最近よく耳にする「ネットいじめ」という言葉。いじめは、いじめであり、インターネットの中の世界であろうが教室の中であろうが、その違いはありません。例えば、教室

の中での人間関係は、SNSの中にも当然持ち込まれます。インターネットの世界は、ちゃんとしたリアル(現実)の一部です。SNSの中で、相手に投げかけた、攻撃的な言葉は、その言葉を向けられた人の心を傷つけます。ゲームの世界のキャラクターではなく、生身の人間が、SNSの中にいるのです。そのことを忘れてはいけません。

SNS上での、友だちに傷つけられた話も、先生に相談してよいのです。子どもたちのそういったSOSをきちんと大人は受け取



祭りと言ったら、ヨーヨーつりより金魚すくいの方が似合っている田中です。今年の夏は暑いですが！夜でもエアコンがなければ、何度も暑さで目を覚まします。しかし振り返ってみると私が小学生だった頃、家にはエアコンがありませんでした。遠い昔の田中少年が暑さに強かったのか、それとも、今ほど日本の夏が暑くなかったのか。どちらか分かりませんが、今の田中少年は、エアコンがなくて生きていけません。みなさんも同じではありませんか？エアコンがついてあたりまえ。実は、このあたりまえって怖くもあります。スマホをずっと触っているのが、あたりまえになると、近くにスマホがないと不安になります。暇な時間をスマホなしでは、過ごせなくなります。怖いですね～今日も暑い！さあエアコンつけよっ… エアコン依存症で風邪を引かないようにしなきゃですね(笑)

るべきとだと考えます。

ネットとリアルを別のものであると考えると、あたかもネットがヴァーチャル(仮想的)なものに見えてきます。インターネット上でのいじめも、紛れもないいじめです。

今回実施しているほっとLINEでは、いじめの通報も受け付けています。これは、小学生でも可能です。もしも、知らせたいいじめがあった場合は、友だち登録をしてほっとLINEで通報してください。残念ながらSNSでのトークを用いた相談は、中高生が対象ですが、学校の先生たちはいつでも、子どもたちの相談を待っています。遠慮することなく、話を聞かせてください。

相手も自分も傷つけない。これこそが、インターネットを利用する上で大前提となるルールである。インターネット上のいじめは、教室の中でのいじめと同じである。これは、上の記事でも述べた通りである。だが、一つ異なるところがある。それは、インターネットの世界の特徴として、保存性があるということ。面と向かった世界の話であれば、許されはしないが、相手に投げかけられた言葉は、記憶の中に残るものの、時間とともに薄くはなっていく。しかし、インターネットの世界は違う。相手に投げかけた、辛辣な言葉は、半永久的に保存される。そして、悲しいことに、ゲームのセーブポイントのように、何度もその言葉を見返すことによって、傷つけられたその時点に戻ることができるのである。これは、悲劇である。インターネットの世界のいじめは、相手は無機質に何度も傷つける。傷つけた方としては、1回きりの言葉でも、傷つけられた方としては、何度も自動的に攻撃してくる言葉となるのである。覚えておいてほしい。

